


## 令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	おかむら ひさかず	
氏名	岡村 久和	
所属・役職	亜細亜大学 都市創造学部 学部長 教授	
活動拠点	東京 および アメリカ EU 東南アジア	
略歴	<p><b>【略歴】</b></p> <p>1978年 早稲田大学商学部卒業  1982年 日本 IBM 入社  (スマートシティ)  2009年 スマーターシティ推進事業部長  国内スマートシティビジネス創出  都市OSの導入(2009年から)  経産省スマートコミュニティ立上げ</p> <p>2011年 米国ニューオーリンズ市長支援  2013年 川崎市川崎区臨海地区帰宅困難者対策協議会アドバイザー  2017年 スマートシティに最も影響のある世界の50人に選出</p> <p>(再生可能エネルギー)  2012年 瀬戸内市日本最大太陽光発電所事業創出  2015年 超小型木質バイオマス装置 現 VOLTER ジャパン設立</p> <p>(個人情報保護法)  2013年-2015年 内閣官房 個人情報保護法 法律作成構成員  法律作成 映像画像、位置情報、セキュリティなど担当</p> <p>2016年 亜細亜大学 都市創造学部 学部長 教授  2018年 EUゲートウェイ 建築技術部門 審査委員長  2019年 EUデジタルツイン健康、医療国際プロジェクト</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	自治体の持つ様々な悩みや、国として進むプロジェクトに関する進め方の整理支援とDXへの具体的な落とし込みを続けています  防災と情報 川崎市臨海地区帰宅困難者情報提供プロジェクト	

	<p>行政支援 武蔵野市 産業振興計画策定 三鷹市 寄贈物件とクリエイター支援 民学産共同研究事業 助成金計画や審査 三鷹まちづくり総合研究所特任研究員 地域通貨・ボランティアポイント 研究会委員 三鷹市産業振興政策アドバイザー</p> <p>テレワーク 北秋田市/三鷹市 2023 年 2023 年地方都市と首都圏都市におけるあるべきテレワークの現状調査と提案を実施。地方都市における斬新なテレワークを調査、発見し論文作成。 居住地から勤務地までつなぐテレワークだけでなく広域に広がった地方都市の中で移動しないテレワーク（例えば漬物生産を無人駅の旧券売所で行うなど）について詳細を調査しレポートとして書籍にまとめた</p>
専門分野	<p>オープンデータ A I 活用 生成 A I シェアリングエコノミー 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（D X 推進のための機運の醸成） 人材（D X に関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム 防災 教育情報化/情報教育 テレワーク 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） 個人情報保護 スマートシティ ICT 活用広報 その他</p>
自治体向けメッセージ	<p>これまで茅野市はスーパーシティの提案活動支援、川崎市川崎区は災害時に帰宅困難者にどうやって情報伝達をするか、三鷹市は市民参加のまちづくりの活性化の様々な取り組みや委員会および次期課長職以上の意思決定練習コース教育、地域通貨の企画、北秋田市は SDG s の北秋田での具体的な理解と政策を職員に考える教育や地域おこし協力隊との共同作業での活性化、関連人口増加検討、ニューオーリンズ市は台風災害の後の破綻した予算配分での市長支援、瀬戸内市は500ヘクタールの塩田跡地のメガソーラー工場への変換プロジェクト、新潟県のある限界集落では居住者の消えた市職員施設でのよろずサービス施設企画など、自治体の多種多様の数々の様々な課題に対しての支援を行ってきました。</p> <p>特にスマートシティ、地域通貨、D X などなど国から降りてくるトレンドや施策の自治体での実際の落とし込み支援が近年増えています。あまり分野を特定できていない要望や施策の整理は得意な分野です。</p>
関連サイト	
地域情報化に関する実績	<p>これまでの経験業務・研究活動</p> <p>日本 I B M における都市 O S 含めた自治体のシステムでの解決化（今でいう D X）を 2008 年から継続 自治体が抱えている様々な問題を政策実務と D X の両面で解決</p>
	<p>これまでに 関与した地 域情報化に 関するプロ ジェクト</p> <p>巨大コンビナート地域の帰宅困難者への情報伝達 川崎市 コンビナート地区の 3 1 1 時 通信手段大規模調査 川崎市 洪水後の自治体における会計や予算配分と IT 構築 ニューオーリンズ市 バックキャスティング思考の市未来戦略策定教育 北秋田市 オンデマンド電力利用システム開発 北九州市 地球温暖化対策と市民との共同対策と IT 共創戦略 横浜市 都市 O S 製品開発導入（10 年前から） 複数市（約 70 都市） 日本最大太陽光発電所 IT 構築 瀬戸内市 大規模太陽光発電所 盗難防止システム 瀬戸内市</p>

	<p>エネルギー単位と貨幣勘定返還システム設計  デジタルツインを使った健康医療システム設計  駅前シャッター街の生まれ変わり検討  木質バイオマス循環防災都市計画  災害時に移動可能な発電所計画  スーパーシティ設計における個人情報対応  デジタル地域通貨戦略とシステム設計  自治体と保険会社によるスマートシティ  小型太陽光パネルの大量連結制御  都会でのワーケーションのあるべき姿  少ない人口の地方自治体でのワーケーション推進  自治体資産の有効活用</p>	<p>神戸市  EU  北秋田市  甲府市  沼津市  長野県内 非公開  三鷹市  調布市  美作市  三鷹市  北秋田市  三鷹市</p> <p style="text-align: right;">他 多数</p>
--	--	--